

第12回 ウルトラ FM 番組審議会

1 開催年月日

令和3年9月24日（金） 10:00～11:00

2 開催場所

須賀川市民交流センターtette4階（4-3）

3 委員の出席

委員総数 6人

出席委員数 3人

（1）出席委員の氏名

安藤清美（副会長）

久保木彩歌

真壁正人

（2）欠席委員の氏名

堀江祐介（会長）

村上香織

横山知佳

（3）放送事業者側出席者

菊地大介（代表取締役社長）

柳沼宏延（放送局長）

4 あいさつ

（安藤副委員長）

今回、堀江委員長が所用のため欠席となりました。委員の皆様より意見が聴ければと思いますので、よろしく申し上げます。

（菊地社長）

新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応として、福島県で実施していたまん延防止等重点措置が解除されましたが、第6波も来るのではないかとの不安に感じるので、対策をしっかりと取りながらFM事業を進めていきたい。また、新型コロナウイルスで色々なものが変わり、新たなことに取り組むチャンスとなっているかと思う。

5 議題

- (1) 「#須賀川写真部の撮っておきスカガワ」(9月7日放送分)について
- (2) その他

6 議事の概要

- (1) 「#須賀川写真部の撮っておきスカガワ」(9月7日放送分)について
事務局からの概要説明の後、意見聴取を行った。

(久保木委員)

初めて聞きました。「よそ者」の目線で番組が制作されたていて良かった。ただ、初めて番組を聞いた人が、その人がどの様な「よそ者」なのか伝わらない。できれば、毎回番組の冒頭でどの様なきっかけで須賀川に関わるようになったかを、初めて聞いた人にも「よそ者」の意味が伝わるようにした方が良いと思う。

(安藤副委員長)

番組のテンポが良かった。「よそ者」の話し言葉が気になるので、表現の仕方を考えてほしい。根幹の番組内容である「坂」に私は興味があり、パーソナリティがカメラマンの目線で話が聴けると思ったが、その部分が聴けなくて残念だった。須賀川商工会議所が制作したパンフレットをもとに番組を進行したと思うが、実際明記されている内容とは違うので、番組で放送する際は現地で確認を取ってほしかった。特に公共の電波を使用するラジオであれば。しっかりと、情報の裏付けをしてほしい。

(菊地社長)

坂のパンフレットは、須賀川商工会議所で作成。制作した当時は、坂の周りにあるお店を歩きながら回遊し、併せて健康になってほしいとの思いで作成した。ウルトラ FM を運営するまちづくり会社のこぶろ須賀川として、改めて歴史の背景や調査を行い、新たな情報紙を作るとともにラジオ放送できればと検討したい。

(安藤副委員長)

30分の番組の中で7つの坂を伝えるのは時間が足りないと思う。もう少し、坂の名所を絞り、詳しく坂の意味を話してほしかった。

(菊地社長)

須賀川の坂がどの様にしてつくられたのか、地勢の観点から調べることは、まちづくりに繋がる。よそ者にもまちの良さを知ってもらうことが、まちづくり会社の役割と思う。

(2) その他

出席者より発言は無かった。

7 報告

事務局の柳沼局長から、番組改編及び、今後の特別番組放送内容について説明が行われた。

(久保木委員)

10月に開催される「円谷幸吉メモリアルマラソン大会」は、ラジオ放送以外にYouTube配信を検討しているのか。

(柳沼局長)

今回初めて、円谷幸吉メモリアルマラソンをラジオで生放送するにあたり、ラジオ放送のみで考えていたが、大会事務局である須賀川市スポーツ振興協会に相談したうえで、YouTube配信が出来るか検討したい。

8 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

・特になし

9 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：令和3年10月1日

10 その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

・令和3年12月を予定。開催日は会長と相談の上決定し、委員に連絡する。